

# あなたの命を守るために

～家庭でできる火災予防～



気温が下がり、暖房器具の使用が増えるこれからの季節。乾燥した空気の影響で火災が発生しやすい時季でもあります。そこで、区内にある中野・野方消防署のうち、中野消防署の方から実際に起きた区内での火災例やその対策について話を聞きました。

◀住宅火災での活動の様子

## プロフィール

篠原 俊行 さん

入庁10年目。消火活動を行う実働部隊の警防課を経て、火災予防の啓発などを行う予防課に所属



## 中野消防署の裏側を紹介

### ① 補給車

長引く消火・救助活動時に出動。 TENTを張り隊員の飲食等をサポートします。



◀東京消防庁全体で10台しかない珍しい車

### ② 仮眠室

警防隊は3交替制での勤務。署内のベッドで仮眠し、出動に備えます。



◀ベッド下の引き出しには隊員愛用の枕などが

### ③ はしご車を使用した消火訓練

この日は最長30m(ビルの10階相当)まで伸びるはしご車で訓練を実施。火災現場さながらの緊迫感があります。



◀イベント時には公開演習も行っています

## 住宅火災の主な原因は電化製品

電化製品が原因で発生する電気火災。令和元年には、東京消防庁管内で起きた火災の約3割を占めました。中でも電気ストーブによる火災が多く、亡くなった方もいらっしゃいました。

区内では昨年、19件の電気火災が発生。電気ストーブによる火災も発生しています。どのように火事になったかという、室内に干していた洗濯物が風で飛ばされて落ち、燃えてしまったんです。その他にも、電源をつけたまま寝てしまい、寝返りを打った時にずれた布団が接触し発火したこともあり。みなさんの身近で、ちょっとした不注意から火災が起きているんですよ。

## 地域の安全を守るために

中野区は狭い道路が多くありますね。そんな中でも消火活動を確実にするため、中野消防署では小型ポンプ車を6台配備。緊急車両の割り当てを町丁目単位で細かく決めてあり、火災発生時にもすぐ対応できるようにしているんですよ。

また、地域に詳しい消防団は頼もしい存在です。「あの家には高齢の夫婦が住んでいる」「足が不自由なので逃げ遅れているかもしれない」といった地元住民ならではの情報は、救出活動の際にとっても重要。消火活動時の周辺の安全確保はもちろん、日頃の防火指導などで私たちがサポートしてくれています。

## あなたも今すぐ実践 火災予防チェックポイント



### CHECK! 01. 袖口の広い服で料理をしない

気付かないうちにコンロの火が服に燃え移ってしまうことがあります。火が燃え移りにくい防災品のエプロンを使うとより安全です。



▲非防災品との燃焼比較動画は東京消防庁公式チャンネルからご覧になれます

### CHECK! 02. 暖房器具の周りに燃えやすい物を置かない

10cm離れていても表面温度が約200℃に達し、発火することがあります。外出時や就寝時は暖房器具の電源を切りましょう。



▲電気ストーブに布団が接触して発火している様子

### CHECK! 03. コンセントのプラグにほこりをためない

ほこりが湿気を帯び、電気が流れて発火することがあります。こまめな清掃。使っていないプラグは抜きましょう。



▲プラグ等に表示された電流量以上の使用も発火の原因に

### CHECK! 04. 住宅用火災警報器を点検する

警報器の電池が切れており作動しなかった例も。取り扱い説明書を読み、電池切れなどがないか確認しましょう。



▲警報器の交換の目安は10年。年数が経過したものは交換を検討しましょう

## 火災予防を区もサポート

### 防災用品のあっせんのご利用を

消火器や住宅用火災警報器の購入・取り付けを安価であっせんしています。詳しくは区HPをご覧ください。地域防災係 ☎(3228) 8930へお問い合わせを。



▲詳しくはこちら

日頃の心掛けが火災を防ぎます。自身の大切な生命・財産を守るためにも、上記のポイントを確認しましょう



あなたの力が必要です

## 消防団員を募集しています

18歳以上の健康な方は、年齢や性別を問わずどなたでも入団できます。特別職の非常勤公務員として報酬が支給される他、公務災害の補償や定期健康診断などの制度も整っています。関心のある方は、下記の間合せ先へ連絡を。



上原源隆  
中野消防署長

間合せ先

中野消防団本部  
(中野消防署内)  
☎(3366) 0119

野方消防団本部  
(野方消防署内)  
☎(3330) 0119

特別区消防団入団  
サポートダイヤル  
☎0120(119) 588